

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 14 日

事務事業名		全国民俗芸能保存振興市町村連盟参画事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020202000663
						単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系		政策体系上の位置付け						課長名	生涯学習課
総合計画の施策名		O202 生涯学習・芸術文化活動の推進						担当者名	生涯学習G
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり							
施策名		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進							
手段名		O2 ②親しみを感じる文化振興の推進							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	03	01	00	単年度繰返し (年度~)		
法令根拠						文化振興事業			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
民俗芸能、年中行事などの無形民俗文化財を保存継承していくことを市長村の責務と考えて発足した連盟。加盟した全国の市町村や民間の保存団体が連携・交流し伝統民俗芸能の保存、振興に努めている。	連盟への負担金納入事務および、連絡調整。年1回の定期総会及び研修会(7月末開催)への参加。 平成30年度総会及び研修会参加 (福島県二本松市) 平成31年度総会及び研修会参加 (東京都品川区) 令和2年度は遠方のため、不参加予定 (福岡県北九州市)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
全国の民俗芸能保存振興状況を把握し、桜川市伝統民俗芸能団体関係者を中心に情報を発信し民俗芸能保存、継承に努める。	研修会への参加		1.00	1.00	0.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
全国の市区町村の無形民俗文化財の保存振興にあたる市町村および保存団体。	加盟市町村数		151.00	150.00	150.00	150.00	150.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
加盟団体の連携を図り、情報交換、交流、研修会を通して無形民俗文化財の保存保護を推進する。	研修会参加市町村および団体数		32.00	32.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	71	43	15	0
	事業費計(A)	千円	71	43	15	0
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

01年度事業費 実績 (千円)

02年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	01年度	02年度
09 旅費	28	
19 負担金補助及び交付金	15	15
合計	43	15

事務事業名	全国民俗芸能保存振興市町村連盟参画事業	事務事業No.	20202000663	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 旧岩瀬町から加盟していた事業。平成17年10月に町村合併以後も継続して負担金をおさめ、毎年総会および研修会の案内、資料、広報誌『全民連だより』が送られてくる。少子高齢化など社会環境の変化により年々衰退している地域に伝えられている民俗芸能をいかに継承していくか、貴重な無形民俗文化財をどう保存していくかという同じ課題を持つ市町村が集い、保存事業を支援し交流連携を深めている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 全国で民俗芸能保存に積極的に取り組む市町村との情報交換ができ、研修会や交流を通じて、民俗文化財の保護施策等の助言ができる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 民俗芸能、年中行事などの無形民俗文化財を保存継承していくことは、市総合計画に位置付けされている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 民俗芸能の保存継承や後継者育成事業等の施策を考える指針となる
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 連盟への加入を市担当者だけではなく、伝統民俗芸能団体に促すべきだが、各団体ともに未成熟及び高齢化により当面の間は現状どおりとする無形民俗文化財としての側面が強いことから、今後、文化財課への移管を検討していく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 民俗芸能団体への指導助言ができなくなる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 国、市町村で行っている事業であるため、統廃合、連携は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 負担金額が市町村の人口割で決められている
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 民俗芸能、年中行事などの無形民俗文化財を保存継承していくことへの、受益者負担は公正公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	自治体として伝統民俗芸能の保存継承事業について、情報交換や交流ができる貴重な機会、組織である。今後も、総会及び研修会には参加し、今後は市内の民俗芸能団体も参加できるよう組織の成熟化を図り、参加を薦めていきたい。 なお、伝統民俗芸能は無形民俗文化財としての側面が強いことから、今後、文化財課への移管を検討していく。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 伝統民俗芸能は無形民俗文化財としての側面が強いことから、今後、文化財課への移管を検討していく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持		○			低下				
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持		○																								
低下																										
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="radio"/>																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>